



1.元気に泳ぐアマゴを見事キャッチ 2.自分の手で捕まえたアマゴの塩焼きは格別 3.逃がさないように慎重に網の中へ 4.皆で水鉄砲大会 5.節安にはどんな水辺の生き物が棲んでいるかな 6.水の勢いに負けず、じっとアマゴが来るのを待つ 7.川のお勉強会で見つけた小さな命 8.コツを掴んで次から次へとアマゴをゲット 9.頭に装着した的を目掛けて水鉄砲を発射 10.力を合わせて釣り上げたアマゴ 11.それぞれが奮闘したアマゴのつかみ取り 12.念願のアマゴをゲットし、この嬉しそうな表情



「アマゴの渓流釣り」では、川に釣り糸を垂らし、浮きを見つめ、その瞬間をじっと待つ参加者たち。魚が針にかかる、「きた！」と歓声を上げながら、嬉しそうに竿を上げる子どもたちの姿があらこちらに見られました。

また、子どもたちを対象に行われた「川のお勉強会」では、網を使って岩陰や石の下に隠れている生き物を採集。生き物と触れ合いながら、節安地区に棲んでいる水辺の生き物について学んでいました。勉強会終了後には、水鉄砲を使ったさまざまなゲームが催され、子どもたちは終始笑顔を浮かべながら、川ならではの遊びを楽しんでいました。

そして、毎年大好評の「アマゴのつかみ取り」。大人も子どもも必死の形相で魚を追いかけて、それを見守る家族や友人からも「そこにおる」「あっちいった」などという大きな声飛び交っていました。やっとの思いで捕まえたアマゴを見る子どもたちの目は、喜びで輝いていました。

猛暑日が続く中、参加者たちは、鬼北ならではの夏の過ごし方で、暑さを吹き飛ばすことができましたのではないのでしょうか。